THINK OF JAPANESE STYLE

デザイナーが考える“和”

4人の建築家、インテリアデザイナーに、和の建築の成り立ちや理想とする日本建築などについて取材。
それぞれの見解から、伝統から現代へと引き継がれる和の建築の魅力が浮かび上がる。

Photographs : Nacása & Partners(＊以外)　Text : Chika Komori

江戸時代初期に造営された桂離宮は、当時の王朝文化の粋を今に伝える傑作。書院に数寄屋の要素を併せ持つ端正な建築は、ドイツ人建築家ブルーノ・タウトによって魅力を再発見されたことで知られ、モダニズムに大きな影響を与えた。『超えたくても超えられない永遠の理想型』と矢板久明さん。自然との調和、グリッドの構成、軽やかなフォルムなど、かのフランク・ロイド・ライトやミース・ファン・デル・ローエも桂離宮に影響を受けたと言われる＊　写真：宮内庁京都事務所

右／「外に閉じながら、内部は開放的に」というオーナーの要望にもとづき、地下1階、地上2階の建物の地下に中庭を設けたK邸。1階には天井高2160mmの茶室を設計。RC造の空間に『インテリアとしての和室』をコンセプトに、天井は土佐の手漉き和紙、壁は左官仕上げにするなど伝統的な素材を用いながら、床柱を省略するなど現代的にアレンジし、本格的な茶会を催せる茶室を設計した　下／地下1階と地上1階のRC造の上に、鉄骨ブレース構造の躯体が載る混構造。2階のアルミ製外付けブラインドを下ろしたリビング&ダイニングキッチンの大開口とは対象的に、1階の開口は和室のみとしたソリッドな印象「K邸」（no.60に掲載）

開放的な空間構成、素材を生かした仕上げ……。日本建築の独自性を考えると、そこには森羅万象に神が宿るとする神道の思想にたどり着く。神道といえば柏手を思い出す。柏手は邪気を祓い、汚れのない澄み切った聖域を得るための拝礼作法である。この澄み切った汚れのなさを求める心が、素材をそのまま生かす和の美学の根底にあり、和の美意識や文化に洗練を与えてきたのだろう。しかし、単なる洗練で留まらないところが日本の文化の奥深さだ。江戸の北斎浮画や歌舞伎が大衆文化として発展したのは、日本文化のもう一方の特徴である。豊かな自然と自由な人間性そのものを受でる精神の表れだろう。洗練と遊び心に富んだ大衆性、この両極ともいえる要素を備えることで、この国の文化は深みを増し独自性を強めることになった。

欧米で興ったモダニズム建築が発展する過程で、日本建築の概念と美学が大きな動機付けになったのは紛れもない事実。20世紀のモダニズム建築を代表するミース・ファン・デル・ローエのファンズワース邸のシンプルで美しいフレームが、桂離宮からの影響を感じさせるように、桂には近代建築のエッセンスのすべてがある。繊細かつ抜群のプロポーション、簡素を極めた素材感、室内外を包括する空間の連続性。この見事な建築は、今もなお世界の建築家の目標であり、超えたくても超えられない永遠の憧れ。つまりモダニズムのデザインは、そのまま『ジャパネスク＝日本趣味』が動機付けとなり、石造の量塊を基本とした西洋建築が、産業革命による鉄の発明や社会構造の変化に伴って、機能性や合理性を目指すなかで、日本の建築から大きな影響を受け、線的で流動性に富む空間を獲得していった。

人間の行為を空間化する技術を身につけたのがモダニズム建築。その先鞭を切っているのが茶室だ。RCと鉄骨造の住まいに茶室を造ったK邸では、伝統的な茶室の設計にとらわれることなく、素材の在り方と出会い方やプロポーションを丁寧に検討し、和の空間に仕上げた。最も配慮したのは、余計な装飾をしないということ。素材を生かすことが、和の空間には何より大切だと考えるからだ。数寄屋風の空間を目指し、見付けを細く見せることで、緊張感を感じさせ、品格のある空間を目指した。簡素に見えるディテールに和の精神が宿り、奥深い美がそこに表れた。

Hisaaki Yaita／Naoko Yaita

PROFILE

矢板久明／一級建築士。1955年生まれ。'79年・明治大学理工学部建築学科卒業。'82年・東京大学大学院修士課程修了。谷口建築設計研究所入所。'94年・矢板久明建築設計研究所設立。'95〜'99年・工学院大学非常勤講師。2005年・矢板建築設計研究所に改組、改称。
矢板直子／一級建築士。1958年生まれ。'82年・日本女子大学家政学部居住学科卒業。アーキプレーン建築研究所入所。2002年・内田直子建築研究所設立。'05年〜・矢板建築設計研究所共同主宰。
作品例に'00年「磯子台の家」（神奈川）no.9に掲載、'02年店舗兼共同住宅「OPERA」、07年「八雲の家」（東京）など。

矢板建築設計研究所
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前3-42-8-402
TEL.03-5775-7217
FAX.03-5775-7217
URL : http://www.yaita-associates.com
Mail : mail@yaita-associates.com